

事業所名: グループホームなのはな

作成日: 平成 29 年 8 月 25 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	ご利用者への言動が時に強くなったり、指示口調になる時がある。職員が自分の言動を冷静に振り返る方法を考えると共に、研修も行う予定である。トイレのドアを閉める等、羞恥心への配慮も強化する予定である。	スタッフ同士、注意し合える状況をつくる。	朝の申し送り時、理念の唱和後「ご利用者様には、人生の先輩として声掛けし接します。」を付け加え、1日をスタートする。	3 ヶ月
2	6	BPSD行動が強く見られる方もおられ、認知症専門医にも相談している。今後も身体拘束に関する勉強会を行うと共に、記録の残し方等も検討していく予定である。	玄関の自動開閉、テラスへ自由に移動できるようにする。	評価後、玄関は手動開閉にした。管理者自ら、研修に参加し勉強会を開きたい。	6 ヶ月
3	28	今後も職員全員で「ご本人の能力(できること・できそうなこと・認知能力)」を丁寧に把握し、夜間の転倒の原因対策のためのアセスメントを強化すると共に、ケアの統一のためにも、職員全員でケアプランを共有する予定である。	ケアの統一をはかる。	ご利用者様個々の、アセスメント記録を追加し、毎月のカンファ時ケアプランと一緒に職員と見直し共有する。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月